

電波時計 取扱説明書 (デジタル音声目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
販売元
リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<https://www.rhythm.co.jp>

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

ご使用の際は、巻末の「**使用上のご注意**」を必ずお読みください

1 電波を受信して時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

〔正面〕

〔裏面操作部〕

アラーム1用進み/戻るボタン、アラーム2用進み/戻るボタン、スヌーズボタン、アラームスイッチ、時刻合わせボタン、音量スイッチ、時報スイッチ、音声スイッチ

時刻 午前/午後 12時間表示(時・分・秒)
午前 10:37.00 温度 20.5℃
月・日またはアラーム時刻表示 曜日 温度またはアラーム時刻表示

液晶表示は見る角度によって、見えにくくなり、ムラに見えることがあります。

先の細いボールペンなどで押してください。

① 開く ② カバー ③ 閉じる

電池ホルダーの⊕に合せて電池を入れます。⊖を逆向きに入ると、電池の液もれ、発熱、破裂の原因になります。

標準電波を受信しないで、手動で時刻を合わせるときには、**標準電波を受信できない場合**の「手動で時刻合わせ」をお読みください。

電波を受信しやすい窓などに置いてください。

- カバーを開ける
- 電池を入れる
- リセットボタンを押す

「ビィ」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。「ビィ」と鳴らないときは、電波受信機能がOFFになっています。

※**⑥ 電波受信機能のON/OFF操作**

- カバーを開ける
- 受信開始から2分後に受信結果を確認する

受信には最長で2分程度時間がかかります。※**【受信の流れと表示】参照**

受信成功: 受信マーク点灯
受信失敗: 受信マーク消灯

○ 受信中はボタンに触れないでください。

電波受信中のボタン操作について
電波の受信中にまたは一ボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない 受信しやすい

1〜2分経過しても①または②の受信状態のときは受信できません。場所を変えて**リセットボタン**を押し、再度受信を開始させてください。

【受信の流れと表示】 (リセットボタンを押した直後)

受信マーク(受信中点滅)

受信開始

受信終了(受信中点滅)

受信に成功すると受信マークが点灯

受信に失敗したときの表示例

※受信マークは受信成功後、24〜25時間点灯。
※受信に失敗しても10分以内に誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、リセットボタンを押して再度受信を試みてください。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受受信できる可能性が高くなります。

●場所を変えて受信をやり直す
電波の受信しやすい窓などで取扱説明書の日本地図を参考に、夜間の正面または裏面に電波送信所になるべく向くよう置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記の操作で日付、時刻を設定することができます。

■手動での時刻合わせ
(1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
(2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。

●進む(+)または戻る(−)ボタンを押して数値を合わせます。
●進む(+)または戻る(−)ボタンを押すたびに数値が変わります。

●時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。

※電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功するとアラーム時刻と時刻を修正します。
※**⑥ 電波受信機能のON/OFF操作**

※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、手動時刻合わせを終了します。
※電波を受信できないときの時間精度は、平均月差±30秒になります。

操作例: 2018年12月25日 午前10:37に合わせる

① 時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、西暦年が点滅します。

② +または−ボタンで「年」を「2018」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。

③ +または−ボタンで「月」を「12」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。

④ +または−ボタンで「日」を「25」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。

⑤ +または−ボタンで「時」を「10」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。

⑥ +または−ボタンで「分」を「37」に合わせます。このとき+または−ボタンを押すたびに秒は「00」秒に設定されます。時刻合わせボタンを押して確定します。

●+／−ボタンは、①／② どちらでも使えます。

●電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。

●アラーム中およびアラーム時刻が点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

強制受信とリセット操作

強制受信ボタン
場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗した場合でも日付・時刻表示を継続します。

●受信機能が継続したときは、機能しません。

●手動で時刻合わせをしているときやアラーム時刻を合わせているときは機能しません。

リセットボタン
電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2009年1月1日午前12:00、アラーム②は午前6:30に初期化されます。

●受信機能が有効になっているときは、受信を開始します。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF(無効にして手動で時刻を合わせる)
リセットボタンを約1秒間隔で3回押し続けてください。

○「ビィ」と鳴ったらすぐに押してください。
○受信機能がOFFになると「ビィ」と鳴りません。
○年月日は手動で合わせてください。

○操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときは操作を繰り返してください。

○工場出荷時の設定は、電波受信機能は有効(ON)になっています。

受信機能 ON(有効にして受信を開始する)
一ボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ビィ」と鳴って受信を開始します。その後一ボタンを離してください。

○定期的に受信して標準時刻に合わせます。

2 アラーム機能の使い方

アラーム①と②、2つのアラームを使用することができます。
アラーム時刻を設定するときやアラームのON/OFFを切り替えるときには、アラーム①

●それぞれの進む(+) / 戻る(−) ボタン、アラームスイッチを使い分けてください。

●スヌーズボタンは、①② 共通です。

●アラームの時刻合わせの操作は、①と②を同時にはできません。

●2つのアラーム時刻が重なったときは、①が優先されます。

●アラームが鳴っているときに、もう一方のアラーム時刻になったときは、後からのアラームが鳴り、スヌーズ機能とアラームオートストップ機能は、後のアラーム時刻が対象になります。

●操作説明の例は、アラーム①を使用しています。

アラーム時刻の合わせ方

〈表示例〉アラームスイッチ①②がOFFのときに、アラーム①のアラーム時刻を設定。

午前 10:37.00 温度 20.5℃
午前/午後の表示に注意して時刻を合わせてください。

進む(+)ボタン
戻る(−)ボタン

操作するときには、アラーム①②それぞれに対応した+／−ボタンを使用してください。

①+または−ボタンを押す
アラーム時刻が点滅します。

②アラーム時刻を合わせる
+または−ボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけてと速く変わります。

③約7秒間ボタン操作をしないとアラーム時刻合わせを終了します。

アラームのON/OFF設定

〈表示例〉アラーム①ON、アラーム②OFF

午前 10:37.00 温度 20.5℃
午前/午後の表示に注意して時刻を合わせてください。

アラームスイッチ① アラームスイッチ②

ON ▶(●●)アラームマーク点灯
設定時刻にアラームが鳴る
OFF ▶アラームマーク消灯
アラームを止める、鳴らさない

アラームスイッチをONにする、常時アラーム時刻を表示します。上の図では、日付が表示されています。表示されない項目を表示させるには、アラーム①または②を一時的にOFFにしてください。

アラームオートストップ機能

アラームオートストップまたはスヌーズ操作によりアラームが自動停止しても、アラームスイッチはONのままです。不要なアラームが鳴らないようにアラームスイッチをOFFにしてください。

アラーム音について

電子音アラームについて、日付、曜日、時刻を音声でお知らせします。これを3回繰り返し、その後は電子音アラームの繰り返しになります。音声スイッチがOFFでも音声でお知らせします。アラーム音を確認したいときには、アラーム時刻を現在時刻より1分程度先に合わせると、アラームスイッチをONにしてください。

3 音声ガイド

音声
ON OFF
アラームや時刻を設定しているときの状態をお知らせします。

音声スイッチがONのときの音声ガイド

スヌーズボタンを1回押す : 「ビィ 午前10時37分です。温度は21度です。」
※時刻は秒を読み上げません。また、温度は小数点以下を四捨五入して読み上げます。

スヌーズボタンを連続して2回押す : 「ビィ 12月25日 土曜日です。」
▶押す間隔が短すぎたり、長すぎると時刻と温度の音声が続きます。

その他の音声ガイド例
◇時報スイッチ : 時報スイッチをONにする: 「ビィ 時報ONです。」
◇音声スイッチ : 音声スイッチをONにする: 「ビィ」

◇リセットまたは強制受信ボタン
リセットまたは強制受信ボタンを押す: 「ビィ 電波を受信します。」
▶リセットボタンを押したときには、5秒程度遅れて受信が始まります。

◇アラーム時刻を設定または確認
アラームスイッチ②をONにする: 「ビィ アラーム1は午前6時20分です。」
アラーム①の+または−ボタンを押す: 「ビィ アラーム時刻」を合わせます。ビィ アラーム1は午前6時00分です。

◇アラーム時刻合わせのときに、アラーム①の+ボタンを押す: 「アラーム1は午前6時20分です。」

◇手動で時刻合わせをしているとき
①時刻合わせボタンを押す: 「ビィ 年を合わせます。」「ビィ 2009年です。」→時刻合わせ開始
②+ボタンを押す: 「ビィ 2018年です。」 ※合わせる「年」になるまで+ボタンを押す
③時刻合わせボタンを押す: 「ビィ 月日を合わせます。」「ビィ 1月1日曜日です。」
④−ボタンを押す: 「ビィ 12月1日 土曜日です。」
⑤時刻合わせボタンを押す: 「ビィ 12月1日 土曜日です。」
⑥+ボタンを押す: 「ビィ 12月25日 火曜日です。」
⑦時刻合わせボタンを押す: 「ビィ 現在時刻を合わせます。」「ビィ 午前12時22分です。」
⑧+ボタンを押す: 「ビィ 午前10時22分です。」
⑨時刻合わせボタンを押す: 「ビィ 午前10時22分です。」
⑩+ボタンを押す: 「ビィ 午前10時37分です。」
⑪時刻合わせボタンを押す: 「12月25日 火曜日 午前10時37分です。」→時刻合わせ終了

●アラーム時刻の設定や手動で現在時刻を合わせるとき
音声ガイドが流れている間に+または−ボタンを操作すると表示と音声と一致しませんが、つぎのステップに移るときや設定が終わるときには、設定内容を音声で正しくお知らせします。

音量的選択
音量 音量スイッチにより、「大」または「小」を選択できます。音声が大きい場合は、「大」「小」を告げる音声ガイドはありません。

4 時報機能

時報 ON OFF 時報マーク
時報スイッチをONにするとき時報マークが点灯して、毎正時に音声中時刻をお知らせします。
※音声スイッチがOFFでも機能します。
※暗くなると自動停止する機能はありません。

例 午前10時のとき
「午前10時です」と告げ、その後「ビィ、ビィ、ボーン」と鳴ります。
「ボーン」と鳴ったときが10時です。

5 表示面の照明

スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと約3秒間、液晶表示面を照明します。照明表示はしているときには、時計正面や上方より見てください。他の方向から見ると読み取れないことがあります。

温度表示

センサが内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
測定範囲を超えたときの表示とその意味
温度「HHH」50℃より高温 「LLL」−9.9℃より低温

設置場所について
空気がよく循環する場所に設置してください。
直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車庫の中では使用しないでください。
※本製品は室内用です。室内の温度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度管理を行う用途には適していません。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、**リセット**を押してください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水で、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からびきってください。
●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・時計の廃棄

●お住まいの自治体の指定に従ってください。
●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲 −10〜50℃ 液晶表示可読温度範囲 0〜40℃
時間精度 標準精度 標準電波受信成功直後±1秒
標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)
推奨電池 単3形アルカリ乾電池 JJ5規格 LR6 2個
寿命 約1年(アラームを30秒/日、照度30lx、夜報時 音量小で24回/日、カレンダー・時刻自動修正)
標準電波 福島局
標準電波 福島局/九州局 自動選択
受信機能 ボタン操作でON/OFF切り替え
受信回数 8回/日
受信時刻 1時〜4時、13時〜16時の各時間帯の16分40秒から受信開始
手動時刻合わせ ボタン操作

アラーム精度 表示時刻に対して±0秒
アラーム時刻 2つの時刻設定
アラーム音 電子音+音声(日付、曜日、時刻)
スヌーズ アラーム音が約5分間の一時停止
オートストップ アラーム音が連続2分間で自動停止
照明 ライトボタンを押して約3秒間
照明 照明
防滴防塵機能 なし

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。
40℃以上になると表示が薄くなり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
※表記の電池寿命は、新たな10年における製品の推奨電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容
●誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
●電池の液漏れや発熱、破裂を防止するため、電池について次のことを守る
●傷をつけない。 ●充電しない。
●ショートさせない。 ●火の中に入れない。
●梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

注意

●電池の電圧を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。
●強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。
●浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使えない
さびや故障の原因になります。
●ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。
●分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。
●液晶から漏れた液に素手でさわらない
破損で漏れた液に絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。
●下記のいずれの場所でも使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
●直射日光が当たる所。
●暖房器具からの風が当る所。
●温度が−10℃以下または+50℃以上の所。
●火気のそば。
●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気が発生する機器のそば。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プール、温泉場などガスの発生する所。
●調理場など多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使い方)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(−)を間違えない。
- 長時間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手の届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には不向きな場合があります。
(例: Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※EVOLTAは、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。

●買い置きの電池は、保管状態や電池の使用推奨期間により、電池寿命が短くなることがあります。

電波時計について

電波時計とは
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局: おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局: はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(<https://jiy.nict.go.jp>)
※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について
この時計は、日本以外では電波を受信できません。海外でご利用になるときには、電波受信機能がOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について
送信所から約1200km離れた場所でも受信可能ですが、ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜) あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

電波を受信しにくい環境
次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起る所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの合間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の取扱事項と保証書をよくお読みください。ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中は、販売店の保証書が必要となります。

●修理部品の保有について
回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換へ対応させていただきます。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよく相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 リズム総合サポート
<https://rhythm.jp/support/>

商品例: 商品の詳細は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。
例: BRZ○○○

お客様相談室: 011-20-555-005 受付時間: 9:00〜17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。